

# 令和4年度入学生用カリキュラムマップ

【心理・人間関係学科】

| 科目番号       | 科目名             | 学年 | 科目目的   | 到達目標  | ディプロマ・ポリシーの項目番号                                       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|------------|-----------------|----|--|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|            |                 |    |  |   | 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目<br>○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|            |                 |    |  |   | 1-1   | 1-2 | 1-3 | 2-1 | 2-2 | 2-3 | 2-4 | 3-1 | 3-2 | 4-1 | 4-2 | 4-3 |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 22JPWC1011 | 初期演習Ⅰ           | 1  | 本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。このため、本学の「立学の精神」「教育目標」を知り、本学学生としての誇りと自覚を持つ。さらに、主体性・論理性・実行力を培い、女性として有為な社会人となるために、それぞれの学部学科の専門性に基づく知識と社会人基礎力の修得の必要性を理解し、各自のキャリアデザインを自ら構築する。                  | 短大の修学の基礎となる単位制を理解し、適切な履修計画に沿って修学する主体性、考える力を身につけ、所属学科の3つのポリシーに基づく専門教育の概要を把握し、自らのキャリアデザインを組み立てる力を身につける。また、良識ある社会人となるための社会人基礎力の必要性を理解し、その基盤となる十分なコミュニケーション能力を培い、基本的な社会ルールを理解し、本学学生としての誇りと自覚を身につける。さらに、学習・研究を進める上での倫理の基礎となる情報の取り扱いに関する知識を身につける。 |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 22JPWC1021 | 初期演習Ⅱ(心理・人間関係)  | 1  | 「初期演習Ⅱ(心理・人間関係)」の目的は、「初期演習Ⅰ」で培った力をさらに発展させ、学院の教育理念、立学の精神に基づいた、本学学生としての誇りと自覚を持ち、大学生にふさわしい主体性・論理性・実行力を培う。講義の中で、本を読む、文章を書くなど、大学生の基礎的な能力を養うとともに、学生および教員との人間関係の基礎を身につける。このような講義を実施し、短期大学部心理・人間関係学科の教育目標を達成するように導く。 | 1. 「立学の精神」、それに基づく「教育目標」、「教育推進宣言」、学院の歴史について理解する。<br>2. 主体的に学び、実践する姿勢を身につけ、積極的に意見を発表・伝達するために、本を読み、自ら考え、文章に表現するなどの基礎的な能力を養う。<br>3. 学生相互や担任教員との豊かで円滑な人間関係の基礎を築く。<br>4. 女性として社会で活躍するための、キャリア形成の基礎を身につける。   |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 22JPWC1031 | 女性のライフステージとキャリア | 1  | 心理・人間関係学科で学ぶ4つのライフステージ「自分らしさを見つける」「家庭をつくり支える」「自分を社会に生かす」「コミュニティーに参加する」を通じた女性のライフスタイルの全体像について理解し、2年間の学習プランを自ら構築できる基盤を築く。  | 1. 各ライフステージの基礎知識を習得する。<br>2. 女性が直面しやすいライフイベントについて、心理学および社会福祉学の視点から理解することができる。<br>3. 女性としての自らの生き方のアウトラインを思い描くことができる。   |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |   |   |   |   |   | ○ | ○ |   |   |   |   |   |   |   |
| 22JPWC1043 | 現代女性論           | 1  | 政治・経済が激変する中、女性の生き方も多様化している。同時に、若い女性にとっては、母親世代を含め、これまでの女性の生き方がモデルとして成り立たなくなっている。そのような状況において、女性として生きていく上での必要な知識を習得し、主体的に考え、行動できる力を養う。  | 1. 日々の生活の中で女性性やジェンダーを意識し、「当たり前」、「当然」、「自然」とされがちな様々な事象を批判的に捉えられるようになる。<br>2. これまでの「とらわれ」から自由になり、主体的な選択ができるようになる。  |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |   |   |   |   |   |   | ◎ | ◎ | ○ | ○ |   |   |   |   |
| 22JPWC1053 | 社会人のマナーとルール     | 1  | ビジネスパーソンとして就業するために必要となる基本的な就業のルールを理解し、ビジネスマナーに関する知識・スキルを習得するとともに、社会人としての資質を向上させることを目的とする。  | 1. ビジネスパーソンとして職務を遂行するために必要な就業のルールやビジネスマナーを理解し、新入社員として職務遂行できるレベルに到達する。<br>2. ビジネスマナーなどの資格試験3級程度に合格できるレベルに達する。  |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |   |   |   |   |   |   |   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ |
| 22JPWC1063 | オフィスワークの日本語表現   | 1  | 社会人に求められる基本的な文章表現能力の習得を目的とする。  | 論理的に思考し、相手を意識した文章表現力を養う。  |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   | ◎ |   |   |







| 科目番号       | 科目名             | 学年  | 科目目的  | 到達目標  | ディプロマ・ポリシーの項目番号                                       |     |     |          |     |     |       |   |  |           |   |   |  |  |  |  |  |  |   |   |   |
|------------|-----------------|-----|---|---|---|-----|-----|----------|-----|-----|-------|---|--|-----------|---|---|--|--|--|--|--|--|---|---|---|
|            |                 |     |   |   | 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目<br>○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 |     |     |          |     |     |       |   |  |           |   |   |  |  |  |  |  |  |   |   |   |
|            |                 |     |   |   | 1. 知識・理解  |     |     | 2. 技能・表現 |     |     | 3. 判断 |   |  | 4. 態度・志向性 |   |   |  |  |  |  |  |  |   |   |   |
| 1-1        | 1-2             | 1-3 | 2-1   | 2-2   | 2-3   | 2-4 | 3-1 | 3-2      | 4-1 | 4-2 | 4-3   |   |  |           |   |   |  |  |  |  |  |  |   |   |   |
| 22JPWC2153 | 健康と医療サービス       | 2   | 健康と医療は人生における重要な関心事である。健康と保健医療福祉分野をめぐる現状をよく知り、私たちの健康に絡む今後の課題について理解を深める。<br>受講生一人ひとりが、健康とは何か、より良い保健医療福祉サービスとは何かを考える機会とする。                               | 1. 今日における保健・医療・福祉サービスの現状と課題を理解することができる。<br>2. 医療ソーシャルワーカーが保健医療分野に存在する意義について説明することができる。  |   |     | ◎   |          |     |     |       |   |  |           |   |   |  |  |  |  |  |  |   |   |   |
| 22JPWC1153 | レクリエーション基礎理論    | 1   | レクリエーションについての基本的理論を理解し、現代社会における課題からレクリエーションの果たす役割、意義についての基盤を築く。   | 1. レクリエーションの基本的な考え方を理解し、現代社会の課題を踏まえてレクリエーションの内容が多岐にわたることを理解することができる。<br>2. レクリエーションの歴史を学び、その定義や捉え方が時代とともに変遷していることを知り、現在のレクリエーションの定義について、認識を深めることができる。<br>3. コミュニケーションの原点であるアイスブレイキングとホスピタリティについて学び、その手法を習得する。<br>4. 行事の企画と運営の方法について学び、反省評価も含めて企画できる能力を習得する。 |   |     |     | ◎        | ○   | ○   |       |   |  | ○         | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |   |   |   |
| 22JPWC1163 | レクリエーションワーク     | 1   | さまざまな領域の人々が楽しさを体験できる活動を活用しながら、関係を構築する能力、問題を理解し解決する能力、自己を表現する能力を高める。   | 1. 意図的なグループ経験を通じて、社会人になる準備として必要なコミュニケーション力を身につける。<br>2. 個人が社会の中で機能し、個人、集団、地域社会の諸問題により効果的に対処するための「姿勢・態度・行動」を習得する。  |   |     |     |          | ○   | ○   | ◎     |   |  | ○         |   |   |  |  |  |  |  |  |   | ○ |   |
| 22JPWC1173 | レクリエーションワーク指導法  | 1   | 多様なライフステージに応じた芸術・文化活動、各種ニュースポーツやグループゲームなどの体験学習を通して、それぞれの種目を指導できる基礎的技術を身につけることを介して、コミュニケーション能力の基盤を築くことを目的とする。  | 1. 各種目特性の理解を深め、実際に種目を実施できる。<br>2. 各種目に対する技術的な指導から参加者をまとめるリーダーシップを指導場面において適切に示すことができる。<br>3. 対象者が楽しく参加できるように、実践的な場でのコミュニケーション能力を身につける。   |   |     |     |          | ○   | ◎   |       |   |  | ○         |   |   |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |   |
| 22JPWC2163 | レクリエーションマネジメント論 | 2   | レクリエーション指導（支援）の意味を理解し、レクリエーションを総合的に支援する「マネジメント」に必要な資質を身につける。  | レクリエーションが展開されるさまざまな分野において対象者のニーズを把握し、レクリエーションを組織的・計画的に展開するための理論と方法を修得する。  |   |     |     |          | ○   | ○   | ○     | ○ |  | ◎         |   |   |  |  |  |  |  |  | ◎ |   |   |
| 22JPWC2173 | アダプテッドスポーツ      | 2   | 障がいを持つ人が行うスポーツやレクリエーション活動に関する知識や技能の基盤を実践を通して築く。   | 1. 主に初めてスポーツやレクリエーション活動をする障がい者に対し、参加することの喜びや楽しさを重視したスポーツやレクリエーション活動の導入を支援するために必要な知識と技能を習得する。<br>2. スポーツやレクリエーションプログラムの立案、企画、実施、評価という一連のプロセスを実践できる場面を通して、指導者に求められる能力を習得する。   |   |     |     |          | ◎   |     | ◎     | ○ |  | ○         |   |   |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |   |
| 22JPWC1183 | オフィスワークの英語 I    | 1   | 社内の公用語を「英語」とする日本企業があらわれ、会社の規模にかかわらずグローバル化をすすめる会社が増えている。もはや英語は一部の部署のみで必要とされる特殊能力ではない。そんな社会で今後活躍が期待される受講生が「英語力」で不利益を被ることがないようビジネスに必要な基礎力を身につけることを目標とする。 | 1. 英語で自己アピールできる。<br>2. 短大で学んでいる内容について英語で簡潔に説明できる。<br>3. 部署名を英語で理解できる。<br>4. 基本的な電話応対ができる。<br>5. ビジネスレターのフォーマットが理解できる。   |   |     |     |          |     |     |       |   |  |           |   |   |  |  |  |  |  |  | ◎ | ○ | ○ |

